

事業評価シート（平成24年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	ブックスタート事業		
事業担当	社会教育部 中央図書館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等			
対象・受益者	平塚市内在住の1歳未満の乳児・保護者	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働：ブックスタートボランティア】		
	目的・目標		事業の概要
絵本を通して豊かな子どもの心を育て、親子の絆が養われています。		絵本を通して豊かな子どもの心を育て、親子の絆を養うため、地域のすべての赤ちゃんと保護者に、「赤ちゃん絵本を楽しむ時間の大切さ」を伝えながら、絵本を直接手渡します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ブックスタート実施回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	44	40	40	40		
	実績	38	30	45			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	ブックスタートに参加した乳児の割合				単位	%
	説明・算定式	参加した乳児数÷乳児総数×100					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	55	55	56	56		
	実績	46.8	52.9	48.8			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
乳幼児が集まる施設でチラシを配布するとともに、6会場で計36回実施しました。また、各図書館で個別対応(事前予約制)を行い、中央図書館で1月～3月の平日木曜日午後(9回)に予約不要日を設定し、平成24年度は合計957組の参加がありました。フォローアップ事業の赤ちゃんおはなし会を市内4館で計44回実施し、合計1,637組(前年度比+7回、+665組)の参加があり、継続して本に親しんでいるという効果が見られました。							
平成24年度の検証結果	B：おおむね成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	実施により「赤ちゃんと絵本を楽しむ時間の大切さ」を体験していただき、豊かな心を育てられることから、必要性が高い事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	常に新たな参加対象者がいる事業なので、性質上継続して実施することで、着実に参加者も増えています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	1歳未満の乳児とその保護者を対象としています。この時期だからこそ乳児、保護者にとっても普及啓発を図る必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	ボランティアを募集し協働で実施しています。今後、参加機会の拡大を図るためにボランティアの活動内容・役割分担等の一層の連携を目指します。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		ボランティアが丁寧に事業の趣旨を伝えることで、参加者の高い満足度を維持するとともに、参加率の向上のために、事業のPRと参加しにくい方のための参加機会の拡大を行う必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		ブックスタートの開催、 赤ちゃん文庫の充実	ブックスタートの開催、 赤ちゃん文庫の充実	ブックスタートの開催、 赤ちゃん文庫の充実	ブックスタートの開催、 赤ちゃん文庫の充実
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	3,047	3,183	2,859	2,616
事業費 (A)		3,047	3,183	2,859	2,616
執行率 (%)		96.18	99.59	98.45	
内訳	職員 (人)	1.14	1.25	1.45	1.75
	再任用 (人)	0.15	0.15	0.15	0.25
人件費 (B)		9,927	10,635	12,133	14,760
フルコスト (A+B)		12,974	13,818	14,992	17,376

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	ボランティアとの協働によるきめ細かい対応を引き続き行うとともに、参加しにくい方へのPRと参加機会の拡充につとめ、参加率向上を図ります。
課長コメント	定期的開催に加え、個別で受付を行いましたが目標値に達しませんでした。参加しにくい方へのPRと参加機会の拡充に努め、参加率の向上を図ります。